

原水爆禁止 2020 年世界大会激励メッセージ

原水爆禁止 2020 年世界大会が盛大に開催されます事をお喜び申し上げますとともに、核兵器廃絶への日ごろからの御尽力に対し、深く敬意を表します。

また、本年は広島・長崎への原爆投下から 75 年目にあたる中、新型コロナウイルス感染拡大の影響から様々な制限が余儀なくされています。

このような状況下においても後退することなく、オンラインでの世界大会の開催を決意されましたことは、今後の原水爆禁止運動に大きな力づけとなることと存じます。

本市は、「非核平和宣言都市」として、平和を愛する皆様と共に平和推進活動に取り組み、2000 年から毎年継続して非核平和展を開催しております。

今後とも、原爆写真のパネル展示などを通して、幅広い世代の方々に平和、そして命の大切さを呼びかけ、共に平和推進活動に取り組んでまいります。

最後になりましたが、大会の成功と皆様の益々の御活躍を祈念いたしまして、激励の言葉とさせていただきます。

令和 2 年 7 月 27 日

鈴鹿市長 末松 則子

原水爆禁止2020年世界大会メッセージ

原水爆禁止2020年世界大会の開催にあたり、心よりお祝い申し上げます。

日本は、世界で唯一の被爆国として、再び過ちが繰り返されることのないよう、核兵器の廃絶と軍備の縮小を訴えていく責務があると考えています。

名張市におきましても、1986年に非核平和都市宣言を行い、原爆写真のパネル展示等の平和事業に取り組んでおります。

原水爆禁止世界大会実行委員会の皆様におかれましては、核兵器のない平和な地域社会実現のために、更なるご尽力を賜りますようお願い申し上げますとともに、世界大会のご成功をお祈り申し上げます、あいさつとさせていただきます。

2020年7月6日

名張市長 亀井利克

メ ッ セ ー ジ

唯一の被爆国である日本国民として、核兵器の廃絶と世界の恒久平和、人類の繁栄を願うものであります。

核兵器でお亡くなりになられた方々、今もなおその影響に苦しんでいるたくさんの方々に衷心より敬意を表します。

原水爆禁止2020年世界大会の訴えが大きな輪となって、世界の人々の心の中に浸透し、核兵器のない世界が実現されますよう祈願いたします。

令和二年八月

三重県熊野市長 河上 敢 二

原水爆禁止 2020 年世界大会メッセージ

原水爆禁止 2020 年世界大会の開催にあたり、メッセージを申し上げます。

わが国は、世界で唯一の核被爆国として核兵器の全面廃絶と軍備縮小を全世界に向かって提唱し得る最適な立場にあります。

原爆の恐ろしさ、被爆者の声を世界中に訴え、絶対に核の使用を許してはなりません。

御浜町では、1991 年に「非核・平和の町」を宣言いたしました。以来、8 月を平和月間とし、毎年、原爆パネルを展示して、原爆の恐ろしさや悲惨さを、住民の皆様に広く周知して参りました。今後とも、核兵器の廃絶を強く訴えて参りたいと思います。

原水爆禁止 2020 年世界大会が盛会に終わり、今後核兵器のない平和で公平な世界となることを心から願っています。

御浜町長 大畑 覚

メッセージ

世界平和の実現をめざし、「原水爆禁止 2020 年世界大会（オンライン）」に参加された皆様に心から敬意を表します。

現在、世界中の人々が、新型コロナウイルスの感染拡大、社会的経済的格差・貧困など、これまでに無い危機に直面しているにもかかわらず、核軍備の近代化・増強が行われ、世界の軍事費は増加の一途をたどっています。

2020 年は、広島・長崎への原爆投下から 75 年の節目に当たります。我々は、世界で唯一の核被爆国民として、また、永久に戦争の放棄を誓った国民として、声高に核兵器の廃絶を訴えていかなければなりません。

本町は、「非核平和の町」を宣言した町として、この美しい地球に住む全ての人々がともに栄え世界平和を築きあげる取組みをさらに進めていく決意です。

「原水爆禁止 2020 年世界大会（オンライン）」の成功と恒久平和を願う人々の輪が一層広がることを祈念し、メッセージといたします。

2020 年 8 月

木曾岬町長 加藤 隆